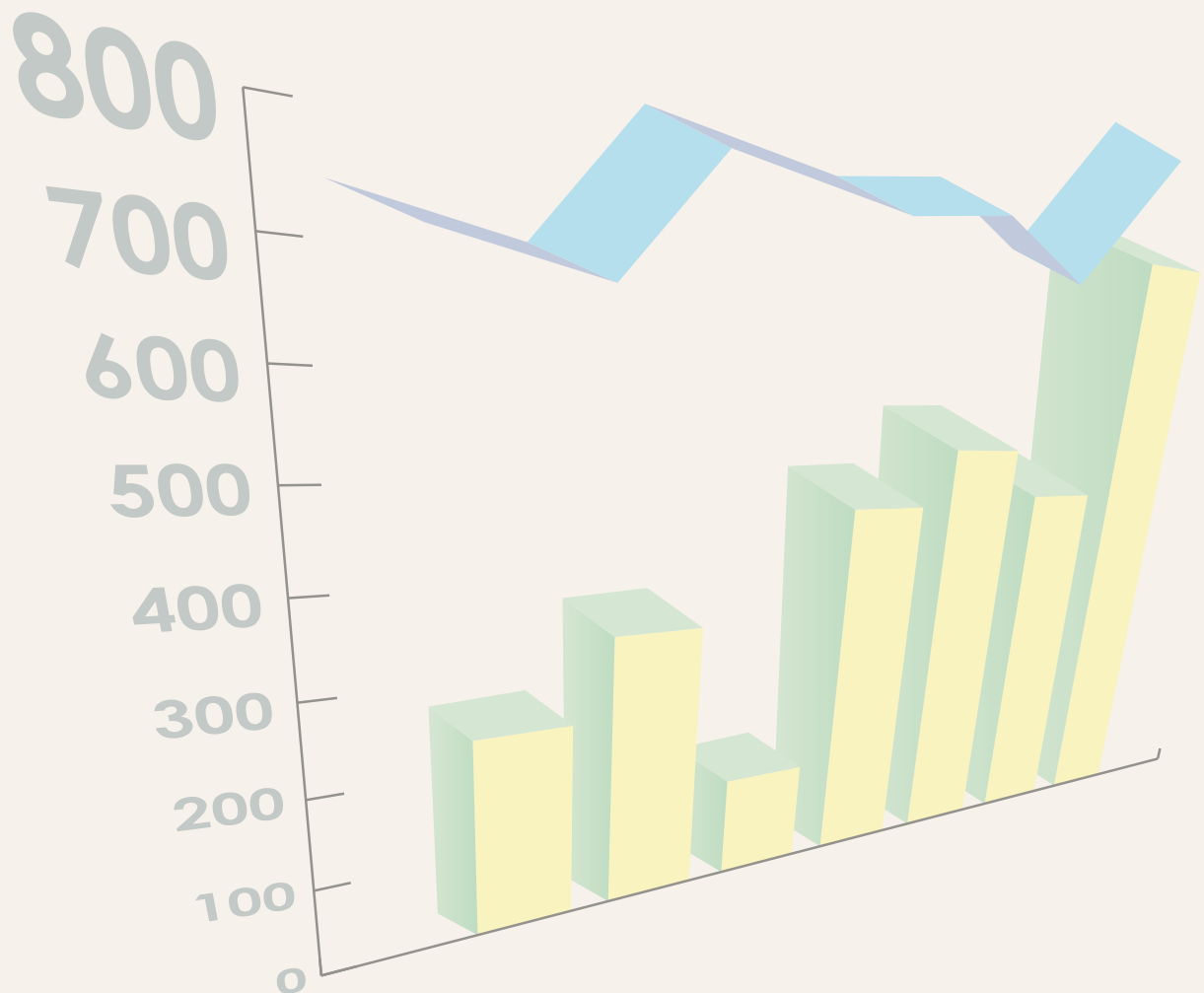


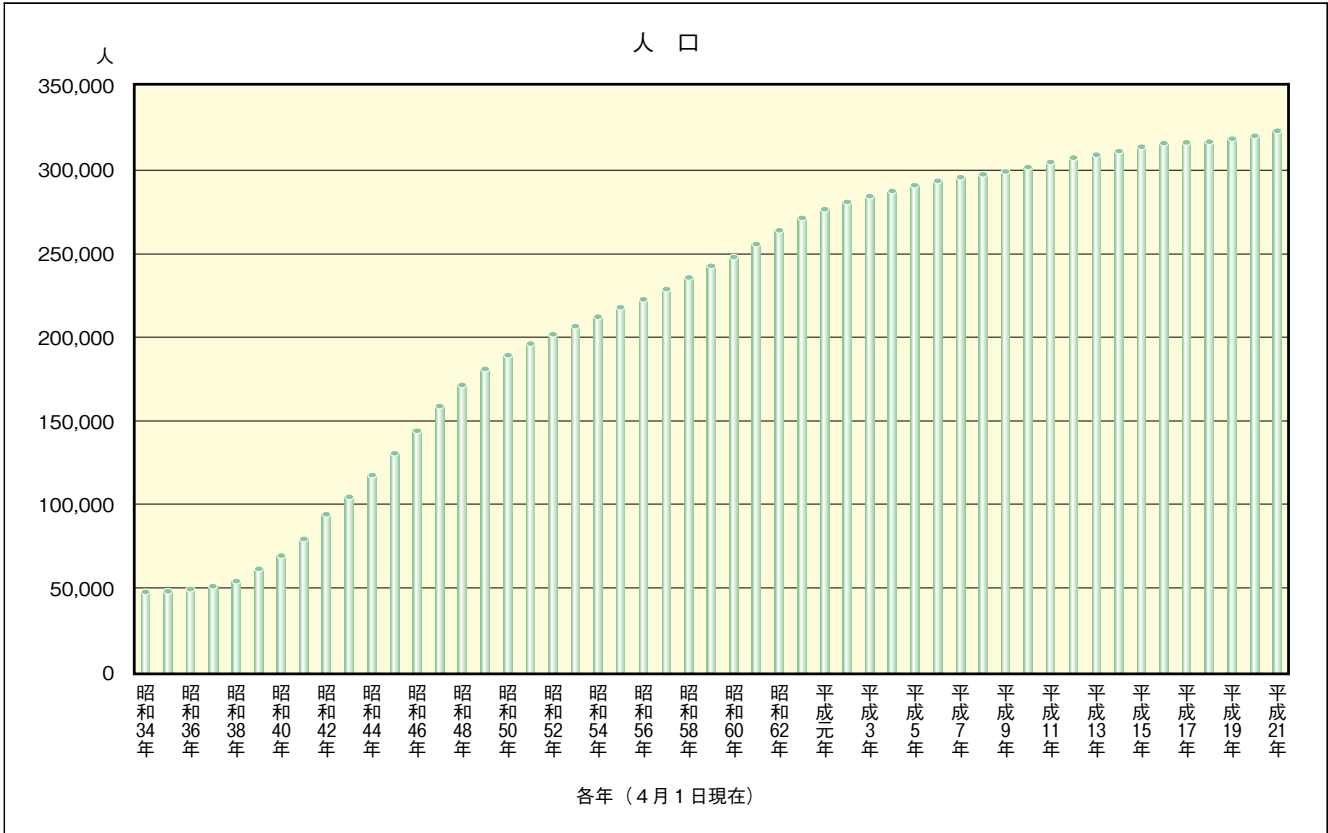
第 4 章

データから見た消防

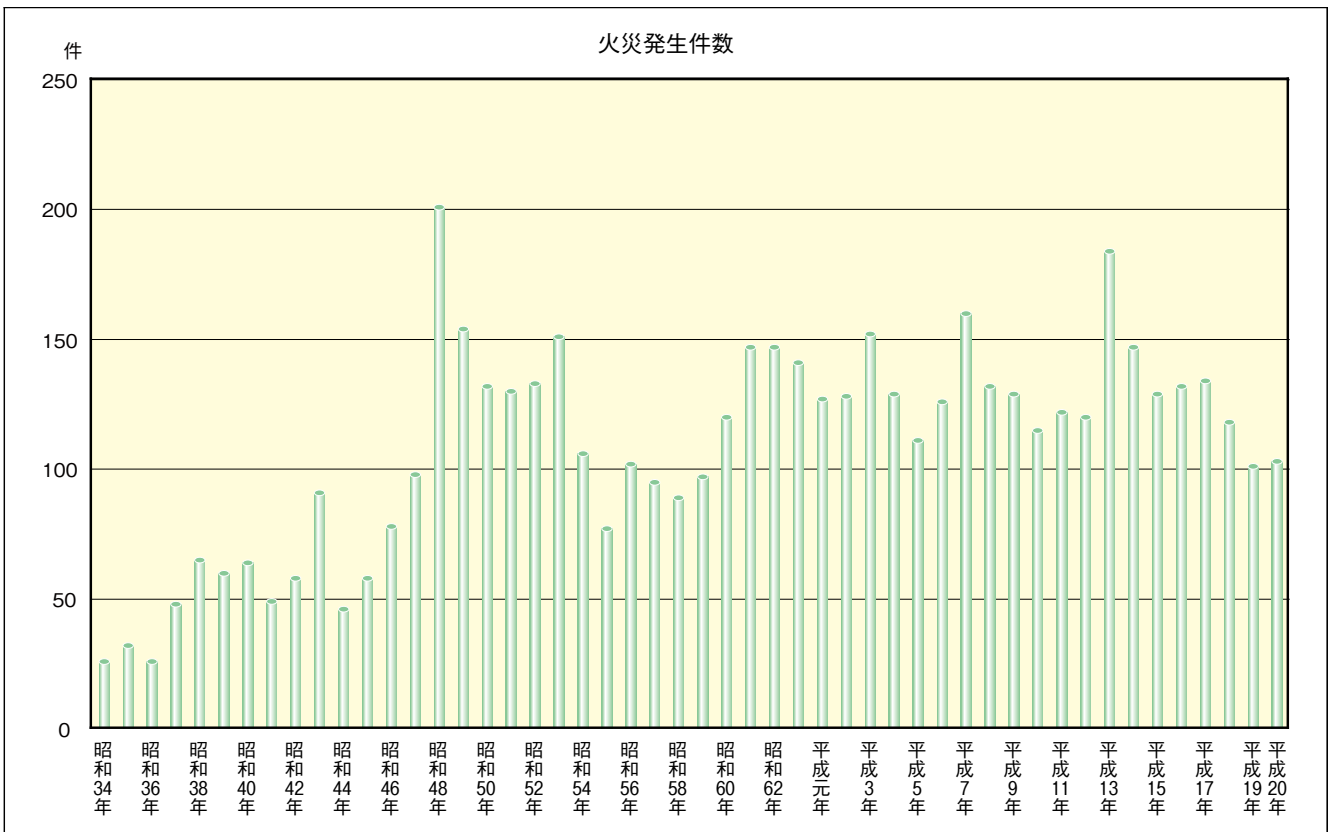


データから見た消防

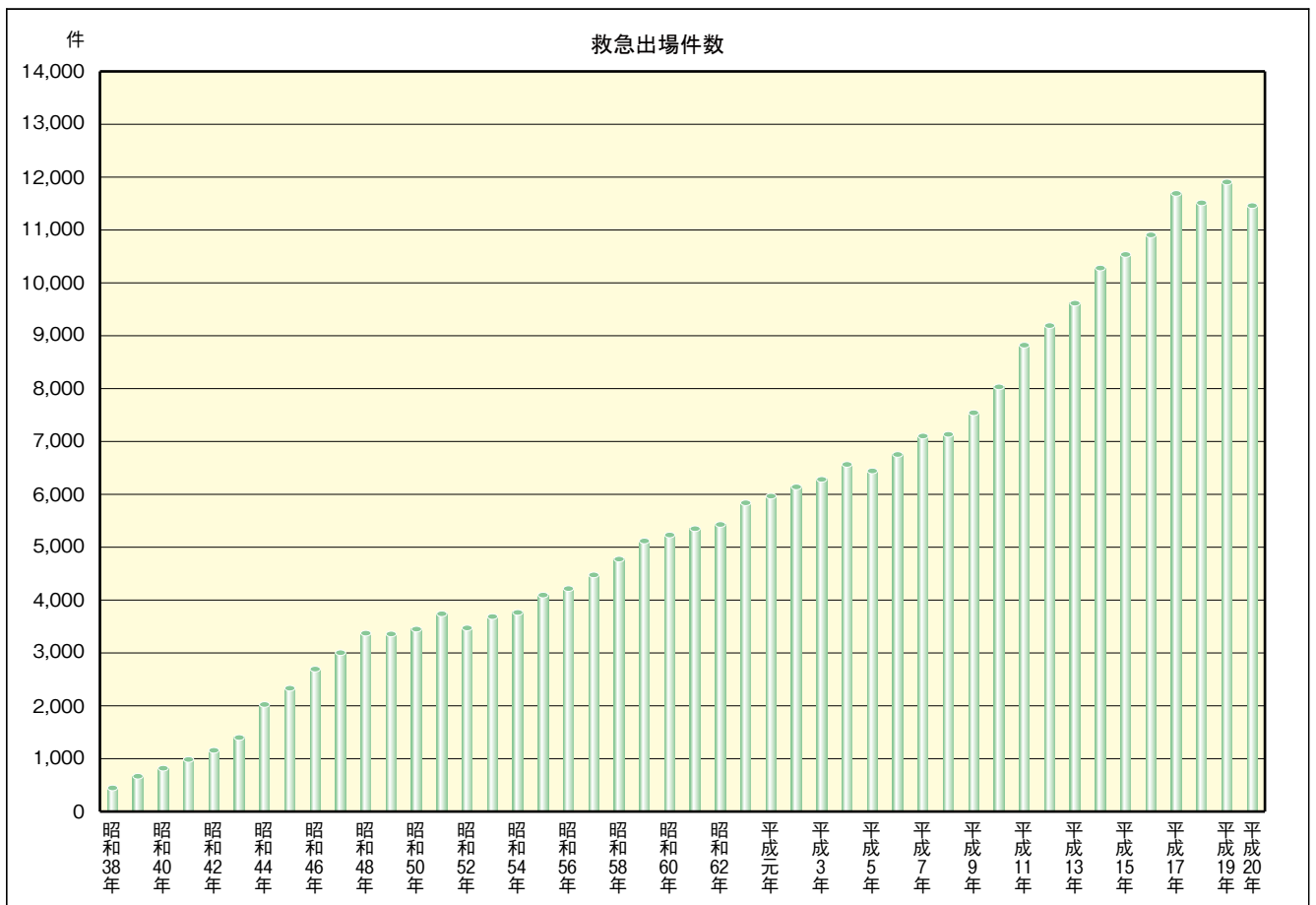
人口の推移



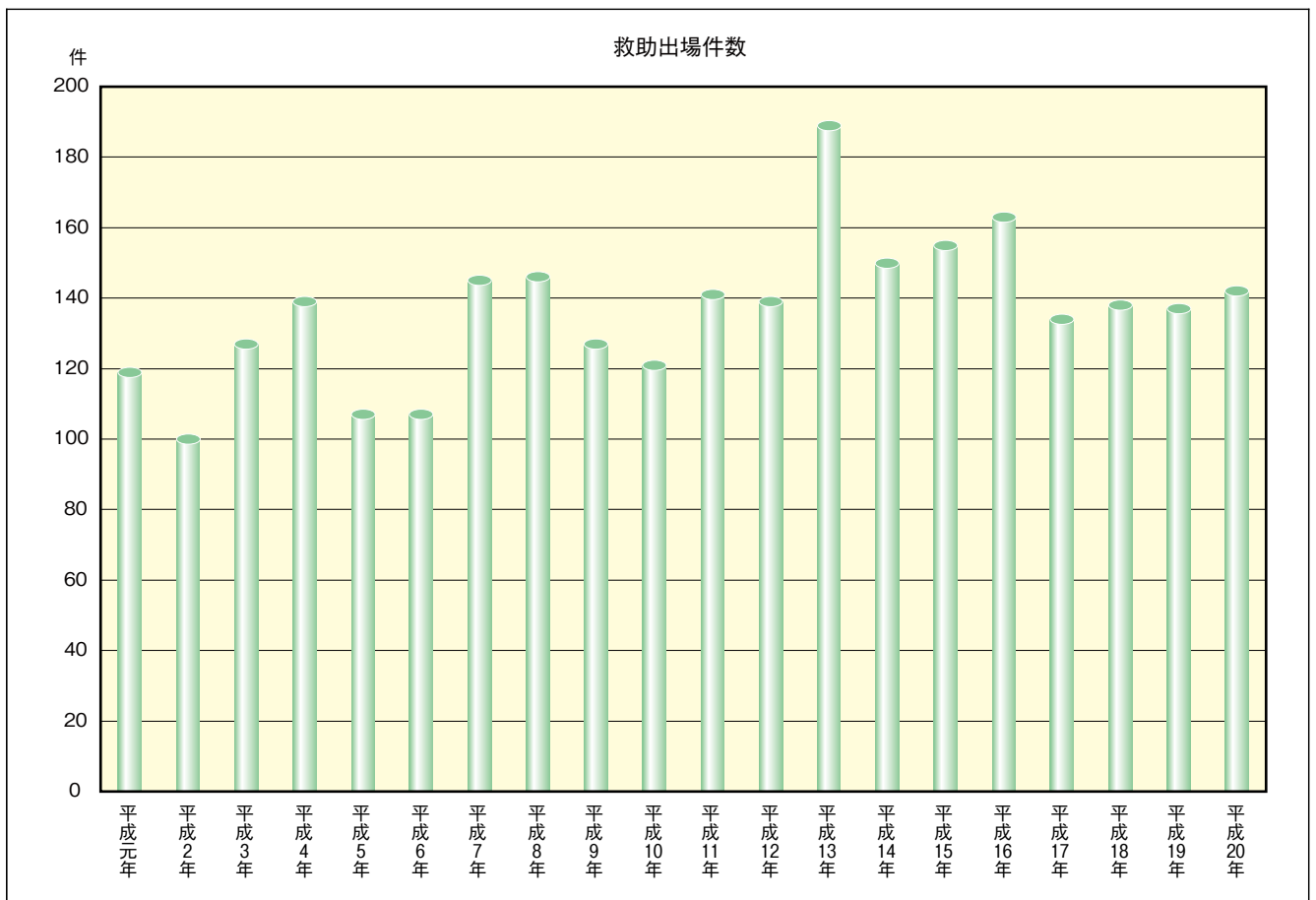
年別火災件数の推移



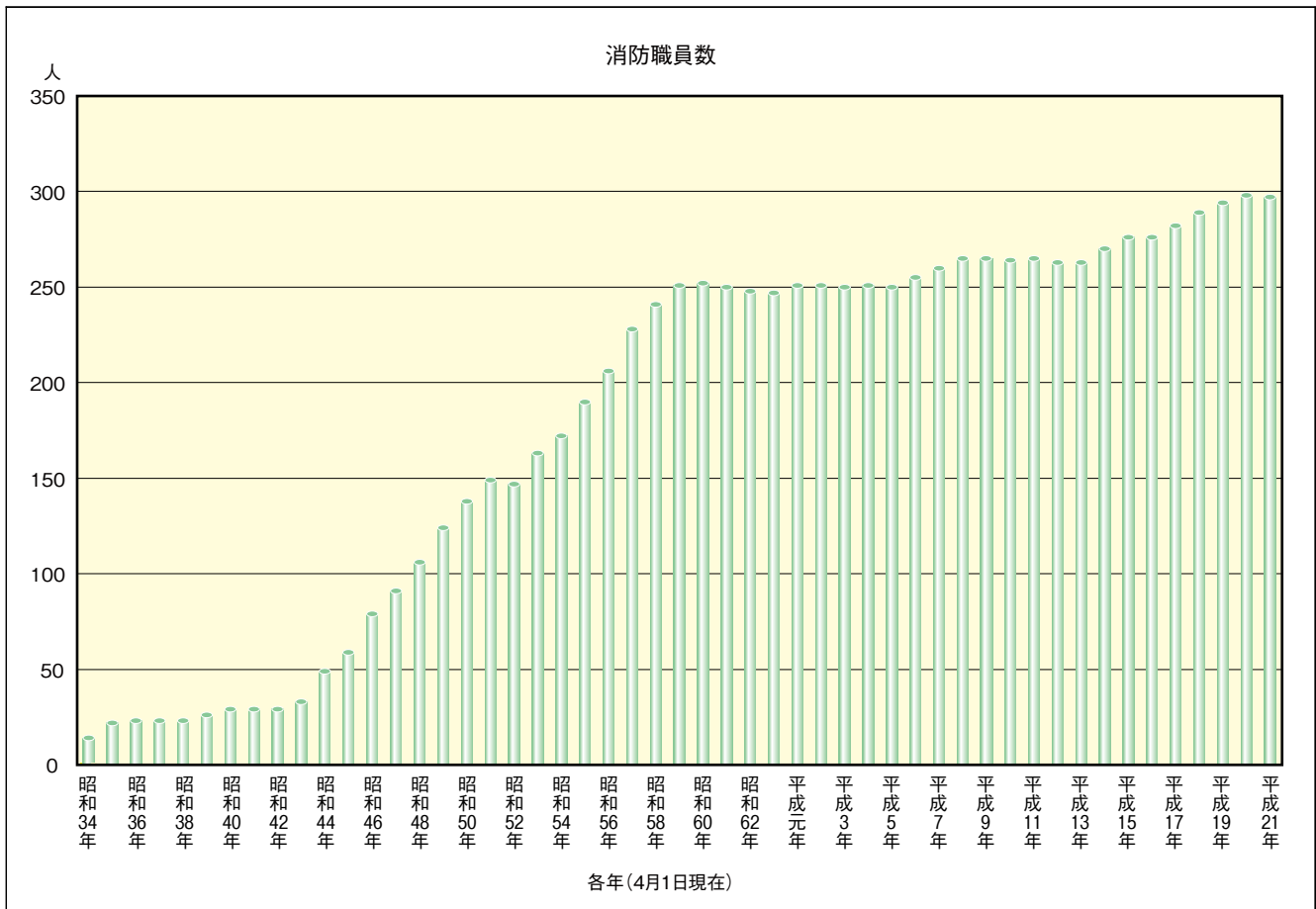
年別救急件数の推移



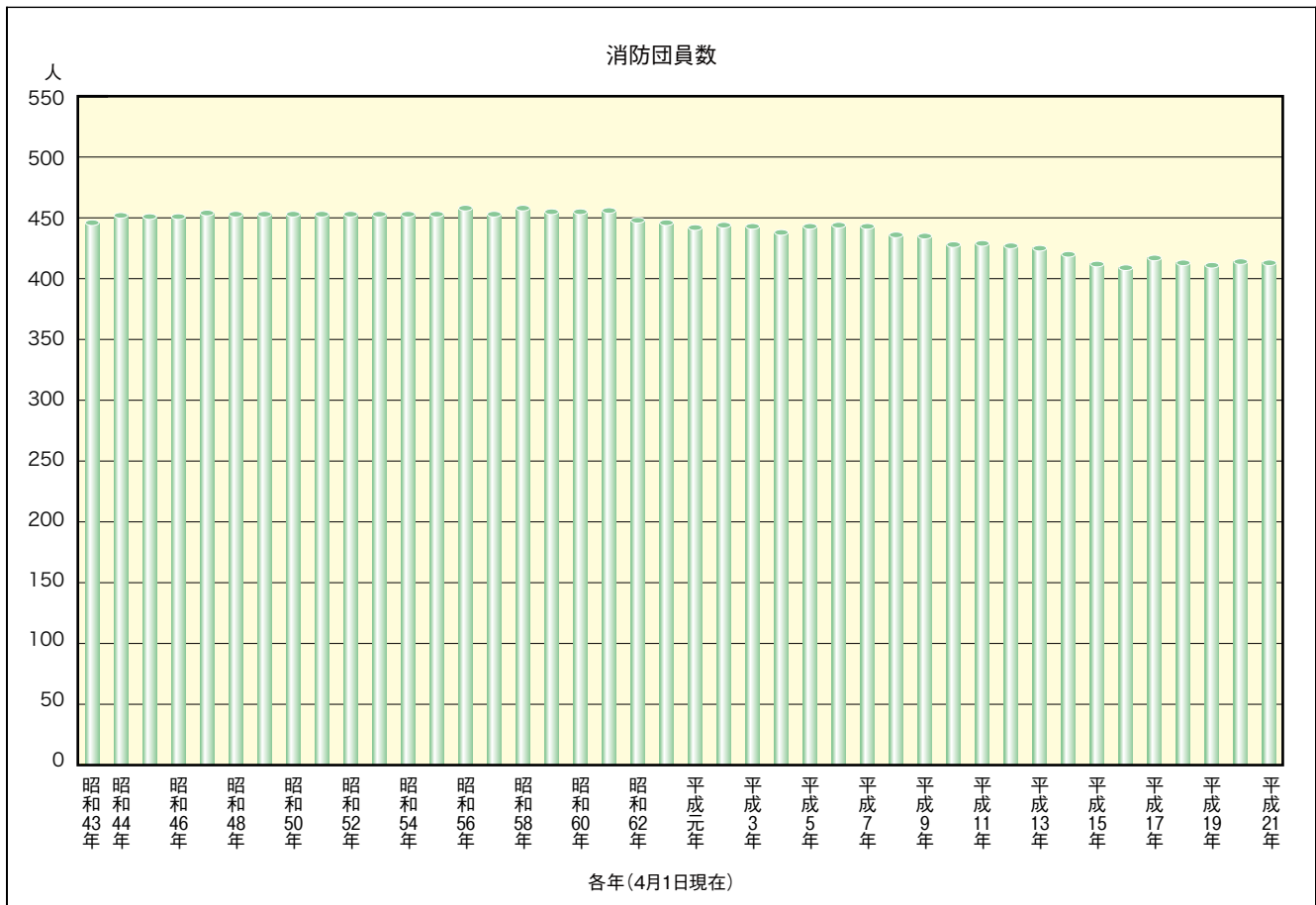
年別救助件数の推移



消防職員数の推移

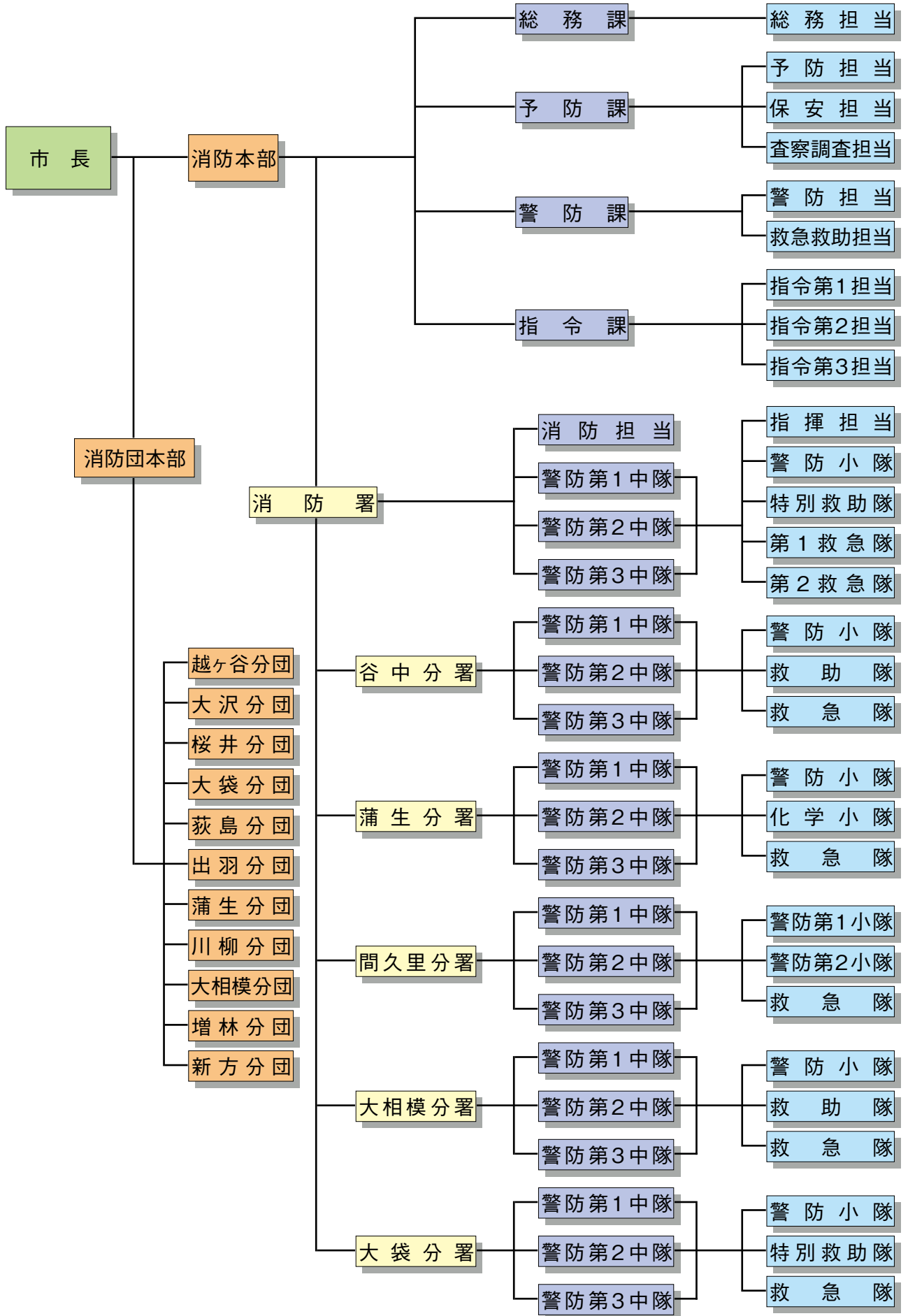


消防団員数の推移



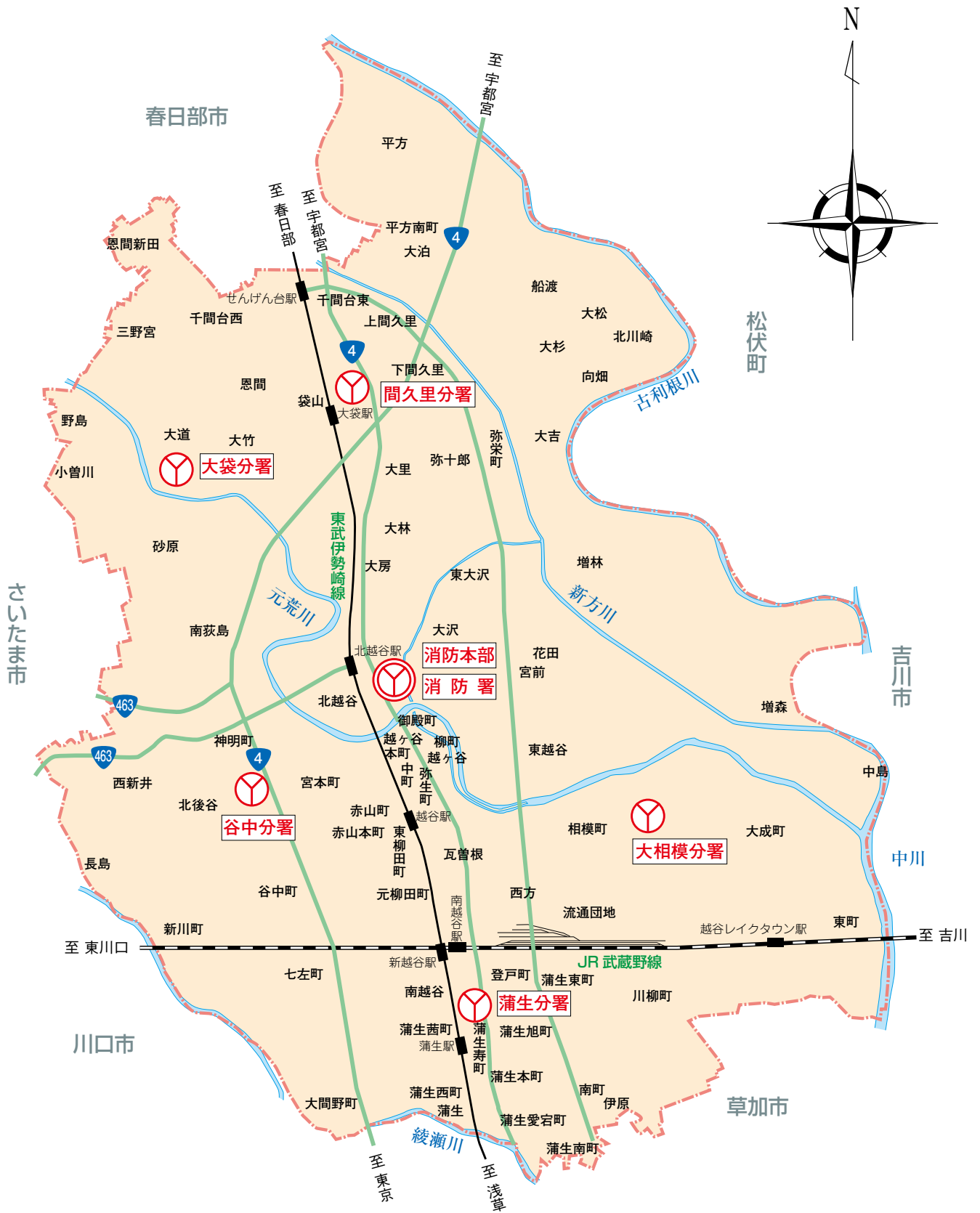
消防機構図

平成21年4月1日現在



第4章 データから見た消防

消防署所配置図



歴代消防長

代	氏名	就任期間	備考
初代	大塚伴鹿	昭和34年10月～昭和42年11月	兼務（市長）
2代	大貫亥蔵	昭和42年12月～昭和43年10月	
-	永野悦郎	昭和43年11月～昭和46年3月	消防長職務代理（署長）
3代	永野悦郎	昭和46年4月～昭和47年2月	
-	島村平市郎	昭和47年3月～昭和48年12月	消防長事務取扱（市長）
4代	島村利一	昭和49年1月～昭和50年3月	
5代	菅家義雄	昭和50年4月～昭和62年3月	
6代	中野功	昭和62年4月～平成9年3月	
7代	深堀武夫	平成9年4月～平成12年3月	
8代	小島日出男	平成12年4月～平成15年3月	
9代	杉本昭彦	平成15年4月～平成18年3月	
10代	藤沼實	平成18年4月～平成19年3月	
11代	大野實	平成19年4月～現在に至る	

歴代消防団長

代	氏名	就任期間	備考
初代	荒井政太郎	昭和29年11月～昭和35年10月	
2代	降田清一郎	昭和35年11月～昭和45年9月	
3代	中野喜平治	昭和45年10月～昭和53年1月	
4代	森山武	昭和53年2月～昭和62年3月	
5代	白鳥庄造	昭和62年4月～昭和63年3月	
6代	鈴木清康	昭和63年4月～平成4年3月	
7代	遊馬重誉	平成4年4月～平成10年3月	
8代	清田幸治	平成10年4月～平成14年3月	
9代	島村仁	平成14年4月～平成18年3月	
10代	高橋明	平成18年4月～平成20年3月	
11代	深野弘	平成20年4月～現在に至る	

消防協力関係団体

越谷市防火安全協会 歴代会長

代	氏名	就任期間	備考
初代	井橋吉蔵	昭和32年7月～昭和52年6月	
2代	岡安幸太郎	昭和52年6月～平成13年5月	
3代	小林政一	平成13年5月～現在に至る	

越谷市婦人防火クラブ連絡協議会 歴代会長

代	氏名	就任期間	備考
初代	岡村照子	平成5年4月～平成11年3月	
2代	小林寿美子	平成11年4月～現在に至る	

越谷市幼年消防クラブ連絡協議会 歴代会長

代	氏名	就任期間	備考
初代	植竹浄水	平成5年4月～現在に至る	

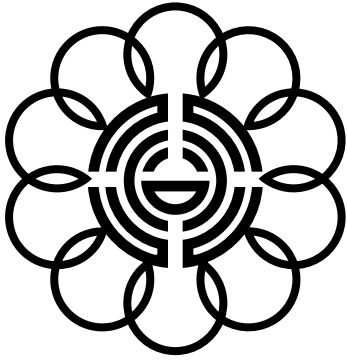
過去の災害のあらまし

西暦	年 月	場 所	摘 要
1949	昭和24年 3月	越ヶ谷	越ヶ谷小学校講堂、校舎焼失
1957	昭和32年 8月	大 沢	東武劇場火災
1958	昭和33年 3月	大 沢	住宅火災、強風にあおられ延焼、13世帯焼失
1958	昭和33年 4月	大 沢	大沢中学校校舎 1 棟焼失
1958	昭和33年10月	越ヶ谷	越ヶ谷大作（赤山町）の工場火災、死者 6 名、重傷者 6 名、軽傷者 6 名
1961	昭和36年12月	大 沢	給油所火災、タンクローリーで地下タンクへ注油中出火、負傷者 5 名
1962	昭和37年11月	増 林	東福寺焼失、練炭火鉢から出火
1964	昭和39年 8月	越ヶ谷	越ヶ谷映画劇場火災
1965	昭和40年 7月	越ヶ谷	工場火災、負傷者 2 名、1,175.82㎡焼失
1966	昭和41年 9月	越ヶ谷	赤山踏切で東武電車と東武バスが衝突、死者 4 名、重傷者 3 名
1968	昭和43年 1月	新 方	大吉の徳蔵寺焼失
1972	昭和47年 9月	桜 井	桜井小学校放火により校舎 1 棟半焼
1973	昭和48年 4月	荻 島	不燃物捨場火災、ブルドーザー出動、12時間消火作業
1973	昭和48年12月	蒲 生	蒲生温泉火災
1974	昭和49年 2月	越ヶ谷	店舗付共同住宅、パチンコ店 2 階から出火、7 世帯全損
1974	昭和49年11月	桜 井	3 階建店舗付住宅でプロパンガス爆発、6 世帯が被害
1975	昭和50年 1月	出 羽	倉庫火災、ブルドーザー等を使用し、約15時間消火作業
1975	昭和50年 7月	大 沢	公衆浴場火災
1975	昭和50年 8月	蒲 生	古紙再生促進センター火災、鎮火まで約 9 時間
1975	昭和50年10月～11月	大 袋	車両等連続放火、車両火災11件、その他の火災 2 件
1976	昭和51年 3月	蒲 生	作業場付共同住宅火災、死者 2 名、負傷者 5 名
1976	昭和51年12月	新 方	倉庫火災、電気溶接の火花が飛び寝具類に着火、1,030㎡焼損、損害額 2 億1,300万円
1977	昭和52年 1月	越ヶ谷	複合ビル火災、スナックバー等焼ける
1977	昭和52年 3月	新 方	一般住宅ガス爆発、30棟被害
1977	昭和52年 9月	大 袋	放火で北中学校体育館 1 棟全焼
1978	昭和53年10月	越ヶ谷	木工所、工場、住宅等 6 棟全半焼
1979	昭和54年 6月	蒲 生	工場 1 棟、1,470㎡焼損

西暦	年 月	場 所	摘 要
1979	昭和54年11月	出 羽	住宅火災、3棟全焼、1棟半焼、死者1名
1980	昭和55年3月	萩 島	長屋住宅火災、1棟7世帯及び住宅等3棟が全半焼
1980	昭和55年4月	蒲 生	住宅火災、4棟全半焼、他5棟が罹災、死者1名
1980	昭和55年7月	新 方	住宅火災、1世帯4名のうち死者2名、負傷者2名
1980	昭和55年12月	越ヶ谷	大型店舗半焼、430㎡焼損
1981	昭和56年10月22日		台風24号 床上浸水223戸、床下浸水1,851戸、道路冠水（市内道路の20%）
1982	昭和57年9月12日		台風18号、床上浸水3,610戸、床下浸水3,869戸、道路冠水延べ450km、田畑冠水1,364.2ha、住宅浸水7,715ha
1984	昭和59年2月15日	大相模	工場火災、全焼3棟、他5棟罹災
1984	昭和59年3月18日	出 羽	家具倉庫火災、854㎡焼損、約2億4,000万円の損害
1984	昭和59年4月4日	川 柳	倉庫火災、1棟全焼
1984	昭和59年10月31日	萩 島	作業場火災、全焼2棟、他1棟罹災
1984	昭和59年11月16日	新 方	住宅火災、5棟全焼、30名罹災
1985	昭和60年1月16日	越ヶ谷	住宅火災、1棟半焼、死者1名
1985	昭和60年3月19日	新 方	住宅火災、1棟半焼、死者1名
1985	昭和60年6月30日		台風6号 床上浸水573世帯、床下浸水1,702世帯
1985	昭和60年8月8日	大 沢	住宅火災、1棟全焼、1棟半焼、他5棟罹災
1986	昭和61年6月8日	北越谷	住宅火災、1棟全焼、1棟半焼、他4棟罹災
1986	昭和61年6月11日	越ヶ谷	空室から出火、1棟全焼、1棟半焼、他2棟罹災
1986	昭和61年12月26日	大 沢	倉庫火災、6棟が被害
1986	昭和61年12月30日	出 羽	住宅火災、1棟全焼、1棟半焼、他4棟罹災、死者1名
1987	昭和62年1月19日	桜 井	作業所火災、住宅2棟罹災
1987	昭和62年4月9日	大相模	チップ粉碎施設火災、鎮火まで72時間、古材チップ10,000㎡焼損
1987	昭和62年5月26日	出 羽	作業場火災、住宅2棟罹災
1987	昭和62年7月28日	出 羽	住宅火災、1棟全焼、3棟部分焼
1987	昭和62年7月29日	出 羽	倉庫火災、2棟全焼、住宅2棟半焼、1棟部分焼
1987	昭和62年10月28日	増 林	住宅プロパン爆発、1棟部分焼、1名重傷
1987	昭和62年11月9日	大 沢	倉庫火災、1棟全焼、住宅3棟部分焼
1987	昭和62年11月27日	大 袋	作業所火災、1棟全焼、住宅2棟部分焼
1987	昭和62年12月5日	越ヶ谷	住宅火災、1棟全焼、死者1名

西暦	年 月	場 所	摘 要
1988	昭和63年2月10日	大 袋	住宅火災、2棟全焼、2棟部分焼
1988	昭和63年2月17日	出 羽	住宅火災、1棟全焼、2棟部分焼、負傷者（全身熱傷1名）後日死亡
1988	昭和63年2月10日	大 袋	住宅火災、2棟全焼、2棟部分焼
1988	昭和63年2月17日	出 羽	住宅火災、1棟全焼、2棟部分焼、1名死亡（全身3度熱傷）
1988	昭和63年3月3日	大 袋	住宅火災、2棟全焼、2棟部分焼
1988	昭和63年4月21日	新 方	住宅火災、1棟全焼、2棟部分焼
1988	昭和63年8月3日	大相模	住宅火災、1棟全焼、2棟部分焼
1989	平成元年5月6日	大相模	古材7,500m ³ 焼失
1991	平成3年9月19日～21日		台風18号 床上浸水1,207戸、床下浸水4,052戸
1993	平成5年1月1日	大相模	倉庫火災、半焼1棟、部分焼1棟
1993	平成5年6月4日	出 羽	丸太5,000m ³ 焼失、住宅全焼3棟、部分焼1棟
1997	平成9年3月14日	荻 島	倉庫併用住宅火災、全焼3棟、部分焼2棟、他ほや1棟罹災
1998	平成10年11月6日	新 方	住宅火災、全焼4棟、半焼1棟、部分焼3棟、他ほや3棟罹災
1998	平成10年12月15日	荻 島	住宅火災、部分焼1棟、死者4名、負傷者1名
1999	平成11年12月2日	大 袋	住宅火災、全焼2棟、半焼1棟、部分焼1棟、死者1名
2000	平成12年7月8日	大 袋	工場火災、全焼1棟、鎮火まで約4時間消火作業
2001	平成13年3月20日	大 沢	作業所火災、全焼9棟、部分焼1棟 ほや3棟
2001	平成13年6月12日	出 羽	作業所火災、全焼6棟、部分焼3棟
2001	平成13年11月7日	大 袋	長屋住宅火災、半焼1棟、死者4名、負傷者8名
2004	平成16年2月15日	出 羽	倉庫火災、古紙が焼損、鎮火まで約18時間消火作業
2006	平成18年1月16日	蒲 生	診療所併用住宅火災、全焼1棟、部分焼1棟、ほや2棟、死者1名、消防職員4名負傷
2007	平成19年2月～4月	大 袋	ゴミ集積場連続放火、建物火災3件、その他の火災10件

越谷市の概要



越谷市章

越谷市民憲章

わたしたちは、越谷市民であることに誇りと責任を持ち、水と緑と太陽に恵まれた豊かなまちを築くため、限りない願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

1. 教養を豊かにし、人間性あふれる文化のまちをつくります。
1. きまりを守り、信じあい心豊かな明るいまちをつくります。
1. 自然を愛し、お互いに助けあい、きれいなまちをつくります。
1. 健康で楽しく働き、明るいスポーツのまちをつくります。

(平成21年4月1日現在)



位置	東経139度47分、北緯35度53分 (市役所)	
面積	60.31km ² (東西8.6km、南北11.5km)	
人口	323,886人	(平成21年4月1日現在)
世帯数	133,212世帯	(平成21年4月1日現在)
人口密度	5,370人/km ²	(平成21年4月1日現在)

越谷市の木	けやき	(昭和53年11月3日制定)
越谷市の花	きく	(昭和53年11月3日制定)
越谷市の鳥	シラコバト	(昭和63年11月3日制定)

■ 編集後記

昭和34年10月に職員13名、消防ポンプ自動車1台で発足した越谷市消防本部が50周年という節目の年を迎えるにあたり、記念になるものをとのことで本年度に「越谷市消防本部50周年記念誌作成委員会」を設置し、本誌を編纂することとしました。

編纂に際しては、「文言よりも写真等を多くし、目で見て分かる…」という趣旨で開始しましたが、発足当初からの諸先輩は既に退職し、越谷市消防の歴史を知る職員は少なくなっていることから、資料の収集に大変苦慮いたしました。改めて資料や記録の重要性を認識したところです。

編集にあたっては、各委員が所有している過去の資料を持ち寄り編集したものであることから、不足等があるかとも存じますが、各委員の頑張りに免じてご容赦くださるようお願いいたします。

終わりに、この「越谷市消防本部50周年記念誌」が越谷市消防に対するご理解と今後の充実発展につながれば幸いに存じます。

越谷市消防本部50周年記念誌作成委員会
委員長 吉兼 宇一

■ 記念誌作成委員会

委員長	吉兼 宇一
副委員長	中村 明
委員	森田 秀男
	小林 隆士
	中村 恭久
	立原 孝之
	村田 和彦
	埜口 昭二
	川津 忠雄
	齋藤 紀明
	上原 利光
	堀越 達也
	桐澤 博俊
	須賀 昌彦

越谷市消防本部50周年記念誌

- 発行日 平成21年10月
- 企画・編集 越谷市消防本部50周年
記念誌作成委員会
- 発行 **越谷市消防本部**
〒343-0025
越谷市大沢二丁目10番15号
☎048 (974) 0101 (代表)
- 印刷 株式会社 **ぎょうせい**

※掲載した写真の複製・転載を禁じます。



発足  周年
since 1959

越谷市消防本部
SAITAMA KOSHIGAYA